

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年 3月 12日

【評価実施概要】

事業所番号	077100278		
法人名	株式会社北星		
事業所名	グループホームなの花すながわ		
所在地	砂川市空知太西1条3丁目3番22号 (電話) 0125-56-2020		
評価機関名	北海道社会福祉協議会		
所在地	札幌市中央区北2条西7丁目1番地		
訪問調査日	平成20年1月23日	評価確定日	平成20年3月12日

【情報提供票より】(19年12月26日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成16年3月12日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	13 人	常勤 9人, 非常勤 4人, 常勤換算	11.9人

(2) 建物概要

建物構造	木造	
	1階建ての	1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	23,000 円	その他の経費(月額)	12,000 ~ 18,000 円
敷金	有(円) 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	250 円	昼食 300 円
	夕食	400 円	おやつ 50 円
	または1日当たり 円		

(4) 利用者の概要(12月26日現在)

利用者人数	18 名	男性 4 名	女性 14 名
要介護1	11	要介護2	5
要介護3	2	要介護4	0
要介護5	0	要支援2	0
年齢	平均 80 歳	最低 62 歳	最高 93 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人社団 明円医院
---------	-------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当事業所は、平成16年3月の開設から事業所内は和やかで家庭的な雰囲気を有しているとともに、職員は理念の実現に向けて日々のケアサービスを実践し、利用者は穏やかに生活している。広い敷地にはビニールハウスが2棟設置され、春の種まきや秋の収穫など、利用者と職員と一緒に楽しんでいる。また、事業所に対する地域からの理解が深まりつつあり、利用者が地域において安心して暮らしていくことが期待できる事業所である。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	<p>前回評価での課題であった「場所間違い等の防止策」や「注意の必要な物品の保管・管理」等の項目については、職員間で話し合い改善に取り組んでいる。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>全職員で十分に話し合い、一つひとつの項目を理解しながら自己評価に取り組んでいる。また、評価結果を日々のケアサービスに活かせるよう努めている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>現在、運営推進会議開催に向けて準備を進めているところである。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>職員は家族の来訪時に意見・要望等を聞き取るよう努めている。また、内部・外部の苦情相談窓口を明示し、家族に伝えるとともに、事業所内に苦情受け付け箱を設置し、家族が意見等を伝えやすい工夫をしている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>町内会に加入し、地域住民に事業所への理解を深めてもらえるよう努めている。また、事業所の行事に町内会役員を招待したり、散歩時に近隣住民と挨拶を交わすなど、地域との交流を深めている。</p>

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念の共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	事業所では独自の運営理念や、介護理念をつくりあげている。	○	今後は地域密着型サービスとしての役割を加え、理念の改正に取り組むことが期待される。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	事業所内の要所に理念を掲示している。また、職員はミーティング時に理念を復唱し、その実践に向けて日々取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入し、回覧板を渡したり、散歩時に近隣住民と挨拶を交わすなど、交流を深めている。また、年に2回、事業所の行事に町内会役員を招待するなど、事業所への理解を深めてもらうような取り組みを行っている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	全職員で項目ごとに検討し、自己評価に取り組んでいる。また、評価結果を更なる質の向上に活かすよう努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>現在、運営推進会議開催に向けて準備を進めているところである。</p>	○	<p>今後は定期的に運営推進会議を開催し、報告や活発な意見交換等を行い、そこで出た意見を事業所の運営に活かす取り組みが期待される。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市の担当者と相談・報告等で連絡を取っており、ともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>3ヶ月に1度事業所便りを発行し、利用者の暮らしぶり等を家族に報告している。また、家族の来訪時にも利用者の様子や健康状態について伝えている。金銭管理については、月に1度出納帳のコピーを家族に送付し、内容を明確にしている。</p>	○	<p>今後、利用者一人ひとりの状況が定期的に把握できる報告がなされることが期待される。</p>
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族の来訪時に職員は声かけをし、意見・要望等を聞きだすよう努めている。また、内部・外部の苦情相談窓口について、入居時に家族に説明している。また、意見箱を設置するなど、家族が意見等を伝えやすい工夫をしている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の異動・離職等があった場合は、利用者・家族に十分説明し、理解を得るよう努めている。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>運営者は研修に参加する機会を確保しており、職員の育成に努めている。職員は研修受講後、月1度のケアカンファレンス時に研修内容を報告し、共有を図っている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地区の研修会や交流会に参加した際に他事業所職員と交流し、情報交換等を行いケアサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>事前に利用者本人・家族に面談のため来訪してもらい、事業所の案内・説明等を行い事業所の雰囲気に馴染めるよう工夫している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>事業所独自のできる・できないシートを活用し、漬物漬け・餅つき・おはぎ作り等利用者の得意なことを教えてもらいながら、支え合う関係を築いている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	職員は利用者の行動や表情等から希望や意向の把握に努め、その人らしい生活となるよう支援している。		
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	利用者一人ひとりに関して全職員で意見を出し、計画作成担当者がまとめ、介護計画を作成している。また、日頃から利用者本人・家族の意見を聞き取り、介護計画に反映させている。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	6ヶ月に1度、介護計画の見直しを行っている。また、利用者の健康状態の変化や家族の要望等に応じてカンファレンスを行い、見直している。		
3.多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	受診時の送迎・買い物・マッサージ利用等の外出時の付き添いなど、利用者の希望に応じて柔軟な支援を行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	利用者本人・家族が希望するかかりつけ医での受診支援を行っている。また、協力医療機関の医師が月に2度往診したり、利用者の健康状態について24時間相談できる体制が整えられるなど、適切な医療を受けられるよう支援している。		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	重度化・終末期の対応については、入居時に家族と話し合うとともに、利用者の状態変化に応じてそのつど協議し、方針を決めている。	○	今後、重度化・終末期の方針について文書化し、全員で情報を共有することが期待される。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	職員は利用者のプライバシーに配慮した声かけや対応を心がけている。また、個人情報の取り扱いに関しては、保管場所を取り決め、守秘義務を徹底している。		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	職員は利用者のペースを大切に、一人ひとりのその日の状況や、意向を尊重した支援を行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の力に応じて、調理・後片付け等を職員と一緒にやっている。また、一人ひとりの状態に応じて調理方法を工夫し、同じ食卓で利用者と職員が食事を楽しんでいる。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の希望に応じた入浴支援を行い、利用者が寛いで入浴できるよう支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	職員は利用者の生活歴等を把握し、新聞や牛乳取り・掃除等の役割の支援を行うとともに、外食・温泉・りんご狩り等の楽しみごとの支援を行っている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩・買い物など、利用者の希望に応じた外出支援を行っている。また、園芸を楽しむ利用者もあり、日常的に戸外に出かけられるよう支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員の利用者一人ひとりへの見守りにより、鍵をかけないケアに取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	年に2回、避難訓練を実施している。また、緊急通報装置を設置したり消火器訓練を実施している。また、緊急時に地域から協力が得られるような体制を築いている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	食事・水分摂取量を毎日記録しており、職員間で情報を共有している。また、献立作成に関しては年に1度栄養士を招いて講習を受けており、バランスの取れた献立内容となっている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	事業所内全体が清潔であり、温度・湿度が適宜調整されている。音・光にも配慮しており、利用者が過ごしやすい空間となっている。また、居間や廊下の壁には行事の写真や、利用者が作った季節感のある貼り絵が飾られるなど、家庭的な雰囲気有している。		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	居室には利用者が使い慣れた馴染みの物や思い出の品が持ち込まれており、本人が居心地よく過ごせるよう配慮している。		

 は、重点項目。